

低山はいかい倶楽部 2018年10月報告

～玉川上水(第1回)～

2018年10月24日(水)

[参加者] 酒井紀章 主幹事以下 12名

[コース] 羽村駅～羽村取水堰～玉川上水～水喰らい土～玉川上水駅

全14キロメートルを歩いた。多摩川の水は羽村の堰で大半が引き込まれていた。堰で聞こえた大きな流水音は会話を遮るほどだったが、ほんの少し先へ行くと取水量のほとんどが地下水路に入ってゆき、玉川上水に流れ込む水量はほんのわずかとなった。流れる音はほとんど聞こえない。地下水路に取り込まれた水の行き先は多摩湖狭山湖で東京都の水道に利用されているそうだ。

全長約43キロメートルの玉川上水はその距離をわずか標高差約100メートルというほぼ平坦なところを走っているの、歩く感覚は平地歩行という趣だった。

途中、オオハナワラビを見ることができた。

掘り割り水路、水喰らい土、多摩川からの冬場の助水、戦時遺跡である暗渠部分、堀川との立体交差、流路迂回による段丘乗り越え、など見どころ満載の「第1回玉川上水はいかい」だった。第2回も「水の味が?」「小金井の花見」「たこつぼ」、と盛り沢山のテーマがあるそうだ。

[報告者] 五十嵐正行



羽村取水堰



原水の流れ



玉川兄弟



フクラスズメ



玉川上水



ゴール・玉川上水駅